

令和8年度第1回テクノプラザものづくり支援センター 指定管理評価員会議 結果概要

○日時：令和8年7月15日（水） 10時00分～12時00分

○会場：テクノプラザものづくり支援センター第1会議室（各務原市テクノプラザ1-1）

1 評価の手順について

- ・県から評価手順について説明

2 令和7年度の指定管理業務の評価について

○評価方法

- ・指定管理者からの報告を受け、評価シートの項目に基づき評価員が採点。
- ・事務局にて集計し、平均点を算出。

○評価結果

評価項目	平均点
管理基準の充足状況	4.25
設置目的の達成状況	4.75
公共性の確保の状況	4.25
経営状況	4.25
派生的効果	3.75

○主な質疑応答・意見

【質疑応答】

＜ 評 価 員 ＞ ロボットアイデア甲子園やものづくり見学会など将来の担い手育成事業について、大学生へのアプローチはどのように行っているのか。

＜ 指定管理者 ＞ 合同企業説明会への参加や大学との接点づくりを行っているが、大学生向け事業の実施は、専門的な知識が必要になる等の観点から実施が難しい状況である。

＜ 評 価 員 ＞ 「はいてくヒルズ」は参加企業を実行委員会の中核メンバーとして運営に参画させるなど、企業主体の取組として成果を上げていると感じる。事業運営において工夫している点は何か。

＜ 指定管理者 ＞ 企業主体のイベントとするため、参加企業の実行委員会への参画を促し、運営体制の強化を進めている。その結果、企業間の交流や連携が深まり、参加企業自らが事業運営に関わる体制が構築されつつある。

< 評 価 員 > 194 講座の人材育成研修を実施しているが、どのような内容の講座が多いのか。

< 指定管理者 > CAD 等の設計系や DX 関連など専門性の高い研修が多い。受講者が少人数でも企業ニーズに応じて実施しており、実習型講座も多数実施している。

< 評 価 員 > 職業訓練はどの程度の期間で実施し、訓練内容はどのように決定しているのか。

< 指定管理者 > 職業訓練は概ね 6 か月間実施している。訓練内容はハローワークや求職者支援制度等のニーズを踏まえ、CAD や IT・DX 関連分野を中心に実施している。

< 評 価 員 > SNS による情報発信はどのような効果があったか。

< 指定管理者 > 週 2 回程度の情報発信を継続しており、イベント参加者や保護者による投稿も増えている。今後も各務原市等と連携しながら情報発信を強化していきたい。

< 評 価 員 > 来館者数はどのように把握しているのか。

< 指定管理者 > 貸館利用者数や図書資料室利用者数、イベント参加者数等を集計するとともに、本館出入口では AI 画像認識による来館者数測定も実施している。

< 評 価 員 > 光熱費削減はどのように実施しているのか。

< 指定管理者 > エネルギーサービスプロバイダを活用して電力事業者を選定するとともに、デマンドコントローラーを導入し、契約電力を超えないよう運用することで電力コストの削減を図っている。

【意見】

- ・ 市民や学校を巻き込んだイベント、人材育成事業など、地域と連携した質の高い取組が実施されている。各種イベントや広報活動により、施設の認知度向上や PR 効果も着実に現れている。
- ・ 建物の経年化が進む中でも清掃や維持管理が行き届いている。また、エネルギーコスト削減や業務効率化など経営改善に向けた取組も評価できる。
- ・ 公共交通機関によるアクセス向上が引き続き課題であり、高校生や大学生など車を持たない利用者が来館しやすい環境整備について検討してほしい。
- ・ 初めて来館する利用者にも分かりやすい施設となるよう、エレベーター位置の案内やフロアマップ、男女トイレ表示を含めた館内サインの改善を検討してほしい。